

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	国際観光課	職	課長	氏名	北口 義一
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	海外誘客の促進	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	97,244 (R2)	(R3)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
						(年度)	(年度)						
施策1	課題1	魅力ある滞在コンテンツの造成	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	97,244 (R2)	(R3)	1 ほっと石川観光プラン推進ファンド事業 資金貸付金	外国人観光客	5,000			
	課題2	本県観光魅力の効果的発信による認知度向上	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	97,244 (R2)	(R3)	2 海外誘客情報発信事業費	外国人観光客	78,530			
	課題3	外国人受入環境の充実	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	97,244 (R2)	(R3)	3 海外誘客受地整備事業費	外国人観光客	4,600			

※人数については暦年の数値である

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度		作成者	組織	国際観光課	
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016				職・氏名	主任主事 高尚也	

1 目的

平成28年3月に策定された「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟が実施する海外誘客促進事業の円滑な実施のために資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

2 事業内容

外国人旅行者のニーズに対応した観光素材の磨き上げ

- ・観光事業者向け研修会の開催
 - 観光素材の磨き上げについてノウハウを有した専門家を活用し、意欲ある観光事業者向けに研修会を開催

会場: 加賀・能登
 対象: 国内向けに観光素材を販売し、外国人向け販売に関心のある観光事業者
 内容:

<1回目: 座学>

- ・市場の特性や、海外旅行者向け商品造成の基礎を理解
- ・コンテンツのターゲットの明確化
- ・コンテンツの独自性やコンセプトを設定

<2回目: ワークショップ>

- ・コンテンツの課題の洗い出し、解決方法の検討
- ・販売体制の検討

貸付先: (公社)石川県観光連盟
 貸付額: 5,000千円

施策・課題の状況						
施策	海外誘客の促進					評価
課題	魅力ある滞在コンテンツの造成					
	指標	外国人宿泊者数			単位	人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	1,000,000	606,419	683,862	767,270	97,244	
事業費						
	(単位: 千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	予算	20,500	22,000	7,300	7,500	5,000
	決算	20,500	22,000	7,300	7,500	
一般財源	予算	0	0	0	0	0
	決算	0	0	0	0	
事業費累計		59,500	81,500	88,800	96,300	101,300
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性						
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 海外誘客情報発信事業費	事業開始年度 H25	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等 ほっと石川観光プラン2016	

作	組 織 国際観光課				
成	職・氏名 主任主事 高尚也				
者	電話番号 076 - 225 - 1124	内線 3969			

1 目的
 海外からの誘客において重要な認知度向上を図るため、他県との連携により北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの定着を図るとともに、国内在住メディアの招へいや、インターネット等を活用した情報発信、海外向けオンラインセミナーなど、本県観光魅力の効果的な発信を実施する。

2 事業内容

(1) 北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの普及

- ① 北陸アーチパスを活用した情報発信
 - ・沿線自治体との連携による沿線PR動画の制作、国内ランドオペレーター商談会、海外向け旅行会社向けオンラインセミナー等
- ② 昇龍道フリーパスきっぷ等を活用した周遊観光の促進
 - ・沿線各県との連携による国内在住メディア招へい

(2) 国や地域の特徴に応じた戦略的な海外誘客の推進

- ① 欧米豪誘客事業
 - ・欧州観光レップ・いしかわオセアニア観光特使の設置
 - ・国内ランドオペレーター招へい・広告掲載支援
 - ・インターネット動画サイト等(YouTube、Facebook)を活用した情報発信 等
- ② 台湾誘客事業
 - ・SNSを活用した情報発信
 - ・国内在住メディアを活用した情報発信(福井県連携)
 - ・インセンティブツアー等誘致(福井県連携) 等
- ③ 韓国誘客事業
 - ・国内在住メディアを活用した情報発信(福井県連携) 等
- ④ 中国誘客事業
 - ・広域連携(福井、富山、長野)による国内在住メディア招へい及び現地情報サイト記事掲載
 - ・中国富裕層向け情報発信 等
- ⑤ 香港誘客事業
 - ・SNSを活用した情報発信
 - ・オンライン商談会の開催(福井県連携) 等
- ⑥ 東南アジア誘客事業
 - ・現地メディアを活用した情報発信(タイ)
 - ・国内在住メディアを活用した情報発信(レンタカー観光)(タイ、シンガポール) 等

施策・課題の状況							
施策	海外誘客の促進					評価	
課題	本県観光魅力の効果的発信による認知度向上						
	指標	外国人宿泊者数				単位	人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	1,000,000	606,419	683,862	767,270	97,244		
事業費							
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算	82,400	92,515	141,603	296,800	78,530	
	決算	83,642	104,259	119,771	34,649		
一般	予算	55,650	63,665	103,203	237,100	50,255	
財源	決算	56,916	66,779	89,081	24,777		
事業費累計		495,918	600,177	719,948	754,597	833,127	
評価							
	項目	評価	左記の評価の理由				
	事業の有効性						
	(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
	今後の方向性						
	(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客受地整備事業費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度	作 組 織 国際観光課 成 職・氏名 主任主事 高 尚也 者 電話番号 076 - 225 - 1124 内線 3969
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

1 目 的

外国人旅行者が、快適な県内観光を楽しめるよう、観光事業者、有識者とも連携しながら、情報の収集・分析にあたるとともに、観光事業者に対して受け入れに関する意識啓発や、外国語ガイドを対象とした研修等を実施することにより、外国人旅行者の利便性及び満足度の向上を図る。

2 事業内容

(1) インバウンドセミナー等の開催
 ①観光事業者向けセミナーの開催(金沢/加賀/能登 各1回)
 ②インバウンド研究会の開催

(2) 外国語観光ガイドの育成
 ガイドの技能・意識の向上と受け入れ体制強化のため、研修ツアーを実施(年3回、加賀/能登/白山 各1回)

(3) 調査事業
 ①外国人受入環境整備事業状況調査
 ②外国人旅行者に対するニーズ調査

施策・課題の状況						
施策	海外誘客の促進					評価
課題	外国人受入環境の充実					
	指標	外国人宿泊者数			単位	人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	1,000,000	606,419	683,862	767,270	97,244	
事業費						
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	予算	5,000	4,450	15,660	76,000	4,600
	決算	4,418	7,383	13,470	54,804	
一般財源	予算	5,000	4,450	14,160	65,500	4,600
	決算	4,418	5,383	12,230	52,394	
	事業費累計	42,060	49,443	62,913	117,717	122,317
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						